

はぴねすだより 21号



今号の内容

1. 血液内科ができました
吉野病院 院長 就任のごあいさつ
2. 脳卒中センターを新設
南奈良総合医療センター副院長 就任のごあいさつ
3. トルコ・シリア大地震に医師を派遣
4. 看護専門学校で入学式・看護専門学校入試案内
5. 静脈注射院内認定看護師（IVナース）を育成しています
6. 企業団職員を募集します～事務職員～
7. 早期発見・予防を目指して～野球ひじ予防教室を開催～
8. がん診療推進センターを設置しました

【今号の表紙】

野球ひじ予防教室

～南奈良総合医療センター～

※ 4ページに関連記事



血液内科ができました

(南奈良総合医療センター)



令和5年4月、南奈良総合医療センターに血液内科外来を開設し、診療を開始しています。

これまで南和エリアには血液内科がなく、橿原市にある奈良県立医科大学附属病院等へ通院していただく必要がありましたが、今後は南奈良総合医療センターで受診して頂けます。

血液内科で最も頻度が高い疾患は鉄欠乏性貧血ですが、鉄欠乏性貧血も突き詰めれば奥が深い病気です。

貧血の原因がわからない場合や、検査などで血球異常を認めましたら、ご遠慮なくご相談ください。また、血液検査で総蛋白が高い、低いという場合も多発性骨髄腫の診断のきっかけとなります。現在、常勤スタッフがいないため、入院が必要となる疾患の治療は困難ですが、外来化学療法で対応可能な造血器腫瘍等に関しては、積極的に治療を行う予定です。お気軽にご相談ください。

診療曜日・担当医

火曜日：天野逸人(あまの いつと)
日本血液内科学会専門医、指導医
金曜日：柴田浩気(しばた こうき)
奈良県立医科大学 血液内科 医員

就任のごあいさつ

吉野病院院長
南奈良総合医療センター
血液内科 天野 逸人

このたび、南和広域医療企業団吉野病院院長に就任させていただきました天野逸人(あまの いつと)と申します。吉野病院には元々ご縁があり、吉野町国民健康保険吉野病院の時代に3年間勤務させていただいたことがあります。一般内科医としての基礎を学ばせていただいた病院でもありました。

過疎化・高齢化の進む南和地域で、南和広域医療企業団の一員として可能な限り最適な医療を追求し、皆さんのそばに寄り添う地域の病院をめざし、奮励努力してまいります。至らぬ点をご指摘いただき、改善の努力をしてまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



脳卒中センターを新設

(南奈良総合医療センター)

このたび、南奈良総合医療センターに脳卒中センターが開設されました。

脳卒中センターは医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、放射線技師、臨床工学技士、管理栄養士、事務職員

など多くの職種からなる専属の脳卒中チームで高い専門性を有しています。

南和地域におきましても脳卒中の発病数は非常に多くなっており、少しでも早く専門的治療を受けることで命を救い、症状を軽くすることが可能となります。

当院では24時間体制で脳卒中診療を開始することができ、特に脳梗塞に対しては、超急性期の血栓溶解薬であるt-PA静脈注射の治療適応も判断致します。脳卒中発症後、速やかに高度で集中的な治療をおこない、早期から病態に即したリハビリテーションを実施し、早期社会復帰、生活の質を維持・改善できるように、多職種からなる専属の脳卒中センタースタッフが一同となって包括的な医療を行っていくこととしています。

就任のごあいさつ

南奈良総合医療センター
副院長・脳卒中センター長
柘井 勝也

平成28年4月の当院開院時より脳神経外科部長として着任し、今年度から南奈良総合医療センター副院長、救急センター長、脳卒中センター長を拝命いたしました柘井です。

当院は南和地域で唯一の救急医療機関として開院以来、24時間365日患者受け入れ体制を継続しておりますが、今後さらに南和地域の救急医療を充実・発展させていけるように努力して参ります。

私は吉野郡出身で、このたび専門領域であります脳神経疾患に関して、脳卒中センターを開設させていただいたこともあり、地域の皆様が安心してさらに質の高い医療を受けて頂けますように、地元への貢献の気持ちで精一杯頑張っていく所存ですので何卒宜しくお願い致します。

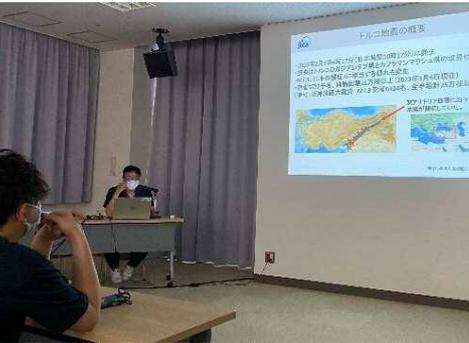
トルコ・シリア大地震に医師を派遣

トルコ・シリア大地震に対する国際緊急援助隊医療チームの一員として医師の派遣を行いました。

派遣されたのは、南奈良総合医療センター救急科部長の伊藤真吾医師で、JICA(独立行政法人 国際協力機構)が派遣する第3次国際緊急援助隊の一員として、3月4日から16日までの13日間、現地に設置された仮設診療所で診療を行ったものです。

トルコ・シリア大地震は、2月6日午前にはトルコ東部で発生したマグニチュード7.8、死者5万人以上、負傷者11万人以上にもなる大災害で、多数傷病者の発生により、現地の医療は逼迫するなど厳しい状況となっていました。

伊藤医師の帰国後、南奈良総合医療センターでは災害派遣医療チーム(DMAT)が主催し、現地での活動に対する報告会が開催されました。



南奈良総合医療センターで行われた報告会

南奈良総合医療センターは、南和医療圏唯一の災害拠点病院で、南海トラフ地震など、近い将来、奈良県で発生の可能性があるとされている大規模災害に対応することとなっています。

災害医療の最前線での貴重な体験とあって、参加した職員は皆真剣な表情で聴き入っていました。



国際緊急援助隊に対する感謝の手紙(現地)



仮設診療所で診察する伊藤医師

南奈良看護専門学校で入学式

南奈良看護専門学校で令和5年4月6日、入学式が行われ、38名の新生が看護師への第一歩を踏み出しました。

新生たちの夢や希望に満ちあふれた姿はとても清々しく、力強く感じられます。

早速3年間の学校生活が始まりますが、誰からも信頼される看護師を目指して頑張してほしいと思います。



令和6(2024)年度

南奈良看護専門学校 学生募集

「学校長推薦地域枠」の入学試験を実施します。

南奈良看護専門学校では、南和地域の医療を支える看護師を着実に養成していくため、南和地域の医療に貢献しようとする意欲のある高校生を対象に、「学校長推薦地域枠」入学試験を実施します。「地域枠」による入学者については、1年次の授業料が全額免除され、さらに、学業成績等が優秀である場合は、引き続き2年次以降も授業料が全額免除されます。

入学試験の種類	出願期間	入学試験日
学校長推薦 (一般枠・地域枠)	令和5年10月2日(月) ～同年10月16日(月)	令和5年10月21日(土)
公募推薦 社会人	令和5年11月6日(月) ～同年11月20日(月)	令和5年11月25日(土)
一般	令和5年12月20日(水) ～令和6年1月10日(水)	令和6年1月17日(水)

※出願資格その他詳細につきましては、本校ホームページの「学生募集要項」(6月頃にUP予定)でご確認ください。

企業団職員を募集します

～事務職員～



病院等の運営に携わる事務職員を募集します。

第一次試験日
令和5年9月17日(日)

受付期間 令和5年7月31日(月)～
令和5年8月28日(月)【必着】

※ 申込方法等その他詳細につきましては、
企業団ホームページの「職員採用情報」
をご確認ください。



早期発見・予防を目指して

～野球ひじ予防教室を開催～



3月21日(火)、南奈良総合医療センターにおいて『野球ひじ予防教室』を開催しました。

この教室は、学童軟式野球下市リーグからの要望に基づき、南和地域でスポーツに取り組む子供たちの安全を守ろうと南奈良総合医療センターのリウマチ・運動器疾患センターとリハビリテーション部が実施したものです。

この日は4チームから48人の選手や指導者、保護者らが参加し、ひじ関節の超音波画像による評価や痛みの有無の確認、全身の柔軟性評価を行ったあと、ストレッチ指導などを実施しました。この日の教室では受診や治療が必要な選手はいませんでした。早期発見が遅れると子ども達の将来を左右しかねないということもあって参加したみなさんは、なごやかな中にも真剣な表情で取り組んでいました。

静脈注射院内認定看護師 (IVナース)を育成しています

3月8日(水)、令和4年度静脈注院内認定看護師(IVナース)修了証交付式が南奈良総合医療センターで行われ、新たに20名が認定されました。

IVナースは、安全な静脈注射実施のための院内認定制度で、415分の講義に加えて180分の技術演習を実施し、筆記試験や技術試験に合格した者に認定証を交付するしくみとなっています。

企業団では、今年認定した20名を含めて今までに161名のIVナース育成を行っており、今後も安全な静脈注射を実施するため、さらに育成を進めていくことにしています。



令和4年度認定者

がん診療推進センターを設置しました

～南奈良総合医療センター～

がん治療は、日々進歩し、複雑化しています。薬物治療の分野では、従来からの抗がん剤治療に加えて、分子標的治療薬と呼ばれる薬剤の開発が進んでいます。これにともない、「遺伝子パネル検査」(がんの遺伝子のどこに異常があるのかを調べる検査)も行われるようになりました。

また、AYA世代(15歳から39歳の方)と呼ばれる若い

がん患者さん、治療後にお子様をお持ちになりたいと考えられる患者さん、仕事を続けながら治療を受けられる患者さんへの支援も重要な課題です。

当院では、これまで各科で対応してきましたが、がん診療全体に関わる課題への対応を病院全体で組織的に進めることとし、「がん診療推進センター」を設けました。

各科医師、薬剤部、がん相談支援センターなどのがん診療にかかわる部門が一体となって南和地域のがん診療の向上に貢献できたらと考えています。



南奈良総合医療センター	〒638-8551	吉野郡大淀町大字福神8番1	電話: 0747-54-5000
吉野病院	〒639-3114	吉野郡吉野町大字丹治130番地の1	電話: 0746-32-4321
五條病院	〒637-8511	五條市野原西5丁目2番59号	電話: 0747-22-1112
南奈良看護専門学校	〒638-8561	吉野郡大淀町大字福神7番地の1	電話: 0747-54-5061
南奈良訪問看護ステーション	〒638-8551	吉野郡大淀町大字福神8番1	電話: 0747-54-5078